

スポーツの力で 地域をひとつに。

レノファ山口FC 霜田監督と山口フィナンシャルグループ 吉村社長。
活躍するフィールドは異なりますが、
同じ志を持つ2人が、人材育成やスポーツを通じた
地域活性化について意見を交わしました。

7月1日(日)に行われた
山口銀行冠マッチ
(P.7にて紹介)について

吉村

当日はたくさんの方にご来場いただき、非常に盛り上がりつつ大変よかったなと思っています。皆さんがサッカー観戦の醍醐味を味わえるような試合だったのではないのでしょうか。

霜田

多くの観客が応援してくれるホームの雰囲気の中でサッカーができたことは、選手共々非常に幸せでした。地域が一丸となって地元のサッカーチームを応援していただける、そんな文化をこれからも山口に根付かせていきたいですね。

レノファ山口の監督を
引き受けた経緯

霜田

もともとどこかで監督として勝負したいなと僕が思っていたタイミングで、レノファさんから声をかけていただきました。それで、僕が考えているチーム強化と、レノファが目指しているチーム強化との方向性が合致したということで、レノファの監督をすることは本当にやりがいがあると思います。引き受けました。まだまだやらなければいけないことはたくさんあるのですが、非常にポテンシャルが高く、可能性のあるチームだと思っていますので、手応えを感じて監督をしています。

人を育てるうえで
大切にしていること

吉村

社員にはとにかくいろんなことに挑戦するよう言っています。失敗を恐れることなく挑戦することでは育つと私は考えています。

霜田

僕の場合は、まず僕が選手たちを信じてあげることです。彼らの能力や可能性を本当に信じてプレーさせるといふのが、選手を伸ばすために一番必要かなと思っています。

レノファ山口FC監督
霜田 正浩



YMFG
代表取締役社長
吉村 猛





吉村

スポーツは地域の皆さんの気持ちをひとつにするのに最も適した仕組みだと思っています。我々も女子のハンドボールチームを持っておりますが、このスポーツの力を使って、例えば若い世代を育てていくとか、地元に戻ってきてもらうとか、地域に活力を生み出すお手伝いをしていきます。地域に愛されるチームづくりを行うことは地域に“熱”をつくり出すことだと考えています。

霜田

もともとJリーグは地域に根ざしたチームを作ろうという理念に基づき始まりました。世界中にサッカークラブがあつて、そのサッカークラブを親子3代で応援しているファミリーがあつたり、地域のシンボルになったり。そういう意味では、山口にレノファがあるということを、山口の人たちに誇りに思ってもらえるようなチームになることが、僕らにできる地域貢献だと思っています。僕らの試合を週末楽しみにしてくださっているファンの皆さんだけではなく、サッカーに興味がなくとも山口県を応援している、あるいは山口県の中で元気になりたいと思っている人たちを巻き込んで盛り上げていきたいです。

スポーツを通じた地域活性化への取り組み

霜田

僕らには明確な目標があります。その目標を手に掴めるかどうかは日々の練習にかかっています。大きな目標に向かって、目の前の一歩一歩を着実に踏み出す。小さなことからコツコツ粘り強くやるということ

組織力を高めるうえで意識していること

霜田

サポーターの皆さんを見ると、本当に温かいなと感じます。すぐにおおらかに応援していただいているなど。練習場にも、スタジアムにも、アウェイの遠くの地にも、本当に多くの方に足を運んでいただき、心の底から応援してくださっているなというのを感じています。また、山口県というところは新しいことにチャレンジすることにすごく寛容なところだと思います。僕自身、

レノファのホームである山口県や山口県民の印象

吉村

どんな変革の時代にも必ず山口県が関わっているという意味ではチャレンジ精神が旺盛な県民性だと思っています。普段は控えめでも、いざとなったら、熱い気持ちを持って立ち上がる。そういった長州人気質が好きです。もちろん食べ物も、観光も、自然環境も素晴らしい。私は山口県の全部が好きです。

人と違った新しいことをやるのが好きなタイプなので、そういう意味では僕がやろうとしていることを受け止めてくれるありがたい場所だと感じています。

吉村 猛 Takeshi Yoshimura

1960年4月3日生 山口県下関市出身
学 歴/1983年 3月 東京大学経済学部卒業
金融機関歴/

1983年 4月 山口銀行入行
2006年10月 山口フィナンシャルグループ 総合企画部長
2007年 1月 山口銀行 総合企画部長
兼 山口フィナンシャルグループ 総合企画部長
2009年 6月 山口銀行 取締役就任
2009年 6月 山口フィナンシャルグループ 取締役就任
2011年 6月 山口銀行 常務取締役就任 徳山支店長委嘱

2012年 6月 同行 常務取締役 東京本部長委嘱
2015年 6月 同行 常務取締役
2016年 6月 山口銀行 取締役頭取就任
兼 山口フィナンシャルグループ 取締役社長就任(現任)
2017年 6月 もみじ銀行、北九州銀行 取締役就任
2018年 6月 もみじ銀行、北九州銀行 取締役退任
2018年 6月 山口銀行 取締役会長就任(現任)

趣味はゴルフと読書。

吉村

何のためにその仕事をやっているのかを常に考えぬくことです。一度原点に帰って銀行員としての志を再確認することで、「新しい銀行にしていきたい」という熱が生まれてきますね。

選手・社員それぞれのパフォーマンスの向上について

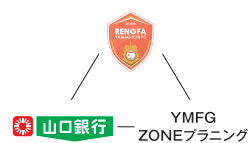
霜田

僕がこの半年間選手たちに伝えてきたことは、僕が言うからやるのではなくて、自分がどんな選手になりたいかを自分で考えて、自分で判断して、自分でプレーに責任を持つということです。サッカーはタイムアウトのないスポーツで、試合が始まってしまつと監督の指示を待ってはいられません。だからこそちゃんと自分たちで考えて、判断して、責任を持って行動する、ということを選手たちにやっていって欲しいと思います。

吉村

銀行員としてのスキルを持っているのはもう当たり前の話です。これからは異業種などへの出向を通じて、違った世界をどんどん見て視野を広げ、型にはまった仕事ではなく、クリエイティブな仕事をやってもらいたいです。

※パートナー協定(=地方創生包括連携協定)とは



レノファ山口・山口銀行・YMFZ ZONEプランニングの3者が相互に協力して「Jリーグで地方創生」の実現に向けた取組みを展開することを取り決めた協定のことです。



山口銀行
冠マッチ

パートナー企業と
レノファが連携して
開催するゲーム



山口銀行と
レノファ山口は今年5月に
パートナー協定(※)
を結んだよ♡

PICK UP

入場
行進



山口銀行の女子ハンドボールチーム「YMGUTS」のメンバーが入場の先頭を務めました。

花束
贈呈



YMGUTS山根主将とSTU48の山口県出身メンバー岩田さんによる花束贈呈を行いました。

ミニ
LIVE



STU48×レノファ山口×山口銀行の夢のコラボが実現しました!!

2018.7.1 [SUN]
レノファ山口
vs横浜FC



山口銀行Presents

親子でスポーツ観戦ふれあいプロジェクト

今年の冠マッチはより多くの子もたちに地元のプロスポーツを体感してもらいたいと、山口県内の親子を中心に総勢3,000名様をご招待!大変ご好評につき、お申込は即日満員御礼となりました。また、今回は試合開始前の会場をアイドルグループ「STU48」がライブショーで大いに盛り上げました。維新みらいふスタジアムには今シーズン最多入場者数*となる12,927名の方にご来場いただき、とても熱い試合となりました。

(※ 2018.8.31 現在)

エスコート
キッズ



たくさんのお友達に選手と手をつないで入場してもらいました♪

YMFZはこれからも、レノファ山口を全力で応援してまいります!



RENOFA YAMAGUCHI FC

吉村

先日もレノファさんと包括連携協定を結ばせていただきましたが、これからも地域になくてはならない金融機関として、地域の活性化に一緒になって取り組めるような存在でありたいと思っています。地域の活性化に寄与するのがYMFZの使命です。地域を元気にするためにも、私たちは新たな挑戦をどんどん続けていきたいと思っています。そして、YMFZもレノファさんと同じように地域の皆さまから「私たちの地元にはYMFZがある」と

霜田

まずはこのレノファを本当に強くしたいです。ちゃんと結果を出すために選手とスタッフと一緒に頑張って、どこまでやれるかチャレンジしてみたいと思っています。そして、「山口県にはレノファがある」と他地域のチームに誇れるような、うちの県にはレノファがあつてよかったと思ってもらえるような、勝つても負けてもそういうふうにしてもらえるようなチームになりたいなと思っています。

霜田

どこのJリーグのクラブでも、パートナー企業というんな取り組みをされていると思いますが、ぜひ他がやっていないこととか、山口だからこそできることというのを一緒にやっていきたいですね。

レノファ山口・YMFZが
目指す姿とは

頼っていただけるような存在になりたいですね。
レノファさんのサッカーにかける想いには、いつも刺激を受けています。この想いをしっかりと心にとめて、レノファさんと一緒に山口を元気にしていきたいと思っています。

